

NEWS RELEASE (平成18年4月21日)

今夏、留学生と“家族”になってみませんか？
“アジア重視の九州大学”が開講するサマーコース「Asia in Today's World~ATW~」
ホームステイ受入家庭を募集しています。

募集対象の地域

九州大学留学生センターまで、公共交通機関を利用して1時間以内に通学可能な地域を対象としています。

留学生センターまでのアクセス

- ・JR「箱崎駅」から徒歩15分
- ・地下鉄「箱崎九大前駅」又は「貝塚駅」から徒歩8分
- ・西鉄バス「九大北門」バス停から徒歩2分、「九大前」バス停から徒歩10分

ホームステイ期間

留学生のホームステイ期間は、下記のいずれかの期間でお願いすることになります。

【後半】 7月22日から8月12日又は13日までの3週間

【全期間】 7月1日又は2日から8月12日又は13日までの6週間

受け入れにあたって**[部屋・食事]**

- ・寝具や机等を配した空調設備のある個室（洋室，和室は問いません）
- ・毎日の朝食と夕食（土日は昼食も）

[留学生の生活スケジュールなど]

- ・日中は大学で勉強（午前9時から日本語，午後アジア研究）することになります。ホストファミリーとの交流は，帰宅後と週末が中心となります。
- ・日常会話は，基本的に英語（日本語ができる留学生もおります）となります。

**募集期間等**

ホームステイ受入家庭の募集は，**平成18年4月28日(金)まで**行っております。所定の申込用紙（下記問い合わせ先あて請求、または下記ホームページによりダウンロード）に必要事項を明記のうえ，郵送又はFAXでの申込みとなります。（応募が少ない場合は，引き続き募集を続けますので，興味のある方は4月28日(金)以降でもお問い合わせください。）

留学生を受け入れていただく家庭には，期間に応じて謝礼金（半期：3万5千円，全期間：7万円）をお支払いします。

【お問い合わせ先】

九州大学国際交流推進室（担当：西原，高原）

電話：092-642-4275 FAX：092-642-4273

Email：akikouok@mbox.nc.kyushu-u.ac.jp

URL：<http://www.isc.kyushu-u.ac.jp/intlweb/>

Asia in Today's World [ATW]

ATWとは

Asia in Today's World[ATW]は、2001、2002年度に九州大学がUMAP(アジア太平洋学生交流機構)の支援のもと実施し好評を得た「UMAP リーダーズプログラム」の後継プログラムであり、2003年度からは九州大学独自のサマーコースとして展開しています。

本学の大学院等の正規課程に入学するリピーターの増加を図り、アジアにおける本学のステイタスを確立するとともに、本学学生の国際化に対する意識向上と留学への動機付けのための積極的な交流をも企図したプログラムです。

参加学生には、海外・国内他大学の講師や学内の教員による各分野のアジア研究プログラム、ラボ研究、日本語授業いずれも好評ですが、学生は「日本人と交流ができる」ことに、とりわけ大きな関心をもって来日します。そのため、日本人家庭でのホームステイは本サマーコースの「目玉」ともいえるプログラムで、お世話になったご家庭と留学生の間には帰国後も交流が続くケースが多く見受けられます。

今年度の受け入れ予定

今年度も多くの申請者の中から選抜して、次の国・大学の65名の受け入れを決定しました。

- 韓国：ソウル大学、梨花女子大学、延世大学ほか
- 中国：北京大学、南京大学、香港大学、香港中文大学
- 台湾：台湾大学、中山大学
- シンガポール：シンガポール大学、シンガポールマネジメント大学
- マレーシア：マレーシアマルティメディア大学
- フィリピン：アテネオ・デ・マニラ大学
- アメリカ：プリンストン大学、コロンビア大学、ミシガン大学ほか
- カナダ：クィーンズ大学
- イギリス：ロンドン大学
- ベルギー：レウベン大学
- フィンランド：ジューバスキラ大学



コース概要

ATWは、下記の内容で構成されています。

アジア研究コース	シンガポール大学、ルーヴァンカトリック大学(ベルギー)など海外の著名大学から招聘する講師と九州大学の教員とで構成した講師陣により、アジアの経済、文化、政策を学ぶコースを開講します。
ラボ研究コース (理系学生対象)	理系学生は、九州大学の理系学部研究室で実験等を含めた指導を受けます。
日本語授業	初級～中級
日本語集中セミナー	(希望する留学生のみ)
フィールドスタディ	西有田棚田農作業体験 ユネスコ世界遺産見学(厳島神社、広島平和記念公園) 茶会